

**シルバー
西原**

発行元 公益社団法人 西原町シルバー人材センター
発刊 2017年(平成29年)3月
〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地
TEL(098)944-1699 FAX(098)944-1835
e-mail nishihara@sjc.ne.jp
U R L : <http://www.town.nishihara.okinawa.jp/nishihara-town-silvercenter/index.html>

シルバーだより 第17号



様々なシーンで 地域貢献 を目指して活動!



シルバー人材センター
基 本 理 念

- 自主…自分のものとして考え
- 自立…自分たちの力で育てる

- 共働…一緒にになって働き
- 共助…お互いに助け合う

~特集~
「エコ・かえるくん事業」
「シルバーはい菜農園」
関連紙面

☞ 6面・7面



平成28年度

定時総会開催

平成二十八年六月九日（木）午後二時、西原町中央公民館において、平成二十八年度公益社団法人西原町シルバー人材センター定時総会が開催されました。

会員総数 236名に対し、出席者 117名、委任状 71名、出席合計 188名

以上の出席を得て、公益社団法人西原町シルバー人材センター定款第十八条（定足数）に基づき、定刻、玉那霸満彦副理事長により開会宣言がなされた。

崎原盛隆会員の司会の下、翁長正吉理事長より挨拶、引き続き来賓の上間明西原町長、新川喜男議会議長並びに沖縄県シルバー人材センター連合の大湾政松会長より、ご祝辞、激励を賜りました。

また、ご列席頂いた来賓の方々の紹介が行われました。審議に先立ち、新川善昭理事が議長に選出され、以下の審議に移りました。

- （議案第一号）平成二十七年度事業報告
- （議案第二号）平成二十七年度収支決算
- （議案第三号）理事長に対する権限委任
- （報告第一号）平成二十七年度補正予算
- （報告第二号）平成二十八年度事業計画
- （報告第三号）平成二十八年度収支予算



司会 崎原盛隆



年度収支予算に係る理事会決議について報告がなされました。最後に平良正一理事の閉会宣言で平成二十八年度定時総会を終了しました。

第二部の懇親会では、稻福勇地域班会長司会の下、舞踊、器楽合唱等々、会員の芸能が多く披露され、雰囲気も盛り上り、終始、和やかな懇親会となりました。

司会 稲福 勇
(地域班会長)



写真で見る 西原町シルバー人材センターの主要行事・報告 (28年4月～29年1月)

4月



平成28年4月8日(水)、リサイクルヤードを訪れ、「生ごみプラント」を始め、のびるくん(アミノ酸液肥)の製造工程等の取材がありました。

当該の取材内容は沖縄全戸配布のJAおきなわ『あじまあー』に掲載されました。 ◆『あじまあー』(沖縄県農業協同組合発行)

※ 2016年6月号 (vol.166／通巻第 166 号)

6月



平成28年6月11日(土)、会員20名参加の下、公共施設清掃ボランティア活動を実施しました。

①西原の塔 ②旧西原村役場跡

また、当日開催の「平成28年度ちゅら島環境美化清掃活動(西原町主催・他)」へも95名の会員が参加し、地域の環境美化に努めました。

6/28



当センターでは毎年、町立学校の体験学習の受入れを行っており、本年度も6月中、3日間、両校の生徒が会員の就業現場にて共に汗を流すなど、センター事業について学びました。

7月



平成28年7月12日(火)、翁長理事長、屋良事務局長は、西原町社会福祉協議会の「町共同募金委員会」を訪ね、熊本地震の被災地支援の為に、当センター設置の義援金箱にて、会員並びに役職員で募った7万5,041円を託しました。／ 義援金は、沖縄県共同募金会を通して被災地(熊本県・大分)に送られます。



7/26



平成28年7月26日(火)、全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要請行動を実施しました。／ 同決議は「『ニッポン一億総活躍プラン』を実践するシルバー人材センターへの支援の要望」とし、シルバー事業の地域社会への貢献等を示し、要望としてシルバー事業の推進の為に必要な補助金や委託事業における会員の就業機会を引き続きご支援・ご協力願いたい旨、要請しました。

7/28

第11回西原町シルバー人材センター安全・適正就業推進大会／(平成28年度)



平成28年7月28日(木)、会員125名の参加の下、開催し、上間町長の激励の挨拶のあと、今年度安全・適正就業推進実施計画、標語の表彰や安全宣言のほか、2名の会員、ご自身の就業体験をもとに貴重な意見が発表、また講話(熱中症について)など、実りある大会となりました。

【意見発表】



崎原盛隆



田野口正二郎



左 万里崎英広(最優秀賞)
 中央 西江 良明(優秀賞)
 右 金城 良和(佳作)

安全標語入選作品(応募総数47点)

佳作

思わぬ所にひそむ危険 指差し呼称で安全確保

金城
良和

優秀賞

声かけは 安全作業の道標

西江
良明

最優秀賞

安全就業 今日も無事故で 笑顔の帰宅

万里崎
英広

9月

『平成28年 観月会』94名の参加で賑わう！

平成28年9月16日(金) 西原町中央公民館 18:00～開催



10月

平成28年度『シルバーの日』取組み(ボランティア活動)／会員110名参加でシルバーPR！

～PRを兼ねたボランティア活動～

平成28年10月15日(土)、臨港道路等のごみ拾い・片付け等の清掃を実施。

当時は、会員110名、ほか役職員の参加の下、普及啓発の「のぼり」等を掲げセンターのPR活動を兼ね、実施しました。



11月

『平成28年度 視察研修(南部巡り)』 働く仲間と交流・親睦！

平成28年11月19日(土) 実施



会員・役職員、総勢42名の参加の下、南部巡りの視察研修を実施しました。共働く仲間とともに終日楽しいひと時を過ごしました。

1月

『第9回 理事長杯グラウンドゴルフ大会』95名で競う！

『平成29年 新春の集い』114名で新年を寿ぐ

平成29年1月14日(土)



優勝 崎原盛一
 準優勝 吳屋泰勝
 三位 比嘉吉春



平成29年1月14日(土)、会員の演舞が披露されるなど盛り上がり、交流を深めました。

特集

エコ・かえるくん事業

地域就業機会創出・拡大事業

当センターは、行政の『環境分野』／西原町一般廃棄物処理基本計画における課題解決の一翼を担うとともに、西原町の「資源循環型社会」及び「循環型農業」の構築と、センター会員の就業拡大と自前収入の確保による持続的に安定した事業の展開を目指し、『エコ・かえるくん事業』を立ち上げ、緑のリサイクル事業と併せた、更に進化したリサイクル事業に取組んでいます。

～エコ・かえるくん事業プラン～

廃棄された「生ごみ」が、「液肥・堆肥」に生まれ変わり作物栽培に活用され、「安心・安全な食材」が地域・家庭へと、資源循環型社会・循環型農業を目指す。

行政の環境問題を共有し、「エコ・かえるくん事業」を立ち上げ、「生ごみ収集委託業」など、会員の就業機会を拡大する。



農家などへの
1トン以上の施
肥(液肥)はセン
ターが散布!
農家への
1トン以上の施
肥(液肥)はセン
ターが散布!
農家への
1トン以上の施
肥(液肥)はセン
ターが散布!

西原支店経済課に手配し、平成二八年十月に元
肥として春菊の栽培圃場250坪に「のびるくん」5
トンを散布して貰った。その効果にビックリ!
「追肥もしないで3ヶ月以上収穫し例年の1.5倍
の収穫を実証できとても良かった。これからも色々
な野菜栽培に使用したい」と笑顔で話した。

安心な野菜を消費者にお届けする為に、有機栽培
を確立、日本有機JAS認定を取得した新規就農
者として期待されている青年農業者です。

農業生産組織の同僚から西原町シルバー人材セン
ターは、今まで堆肥を一輪車などで運び入れていた
微生物活用でアミノ酸液肥「のびるくん」を生産、
農家に格安で販売しているとの情報で、施肥した農
家は、今まで堆肥を一輪車などで運び入れていた
が、「のびるくん」はセンター会員が栽培圃場に散布
してくれるとなつて、植え付け準備が迅速に出来、
労働力の削減、更に収穫量が増え、農業所得の向
上や、生産意欲に自信に満ちた様子だったという。
西原支店経済課に手配し、平成二八年十月に元
肥として春菊の栽培圃場250坪に「のびるくん」5
トンを散布して貰った。その効果にビックリ!



「のびるくん」効果に農家の皆さんビックリ!

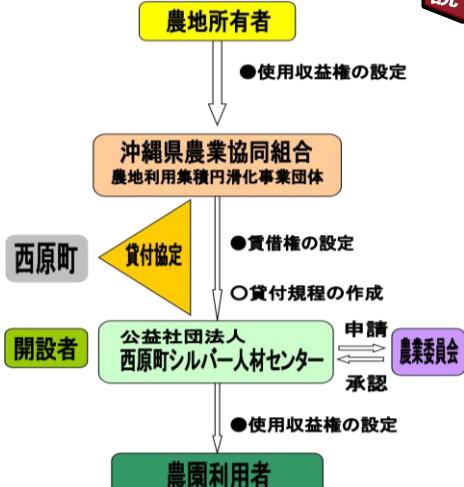
西原町学校給食共同調理場の食品残渣を液肥化
西原町シルバー人材センター独自事業を展開

我謝在住の小橋川さん(写
真)は、ビニールハウスを500
坪と路地栽培2000坪に、
インゲン・春菊・玉ねぎなど多
くの農作物を栽培、地産地
消を推奨し農産物の安全、



~西原町シルバー人材センター耕作放棄地を活用~ 『シルバーはい菜農園』収穫楽しみ 利用者交流深める!

特定農地貸付けの仕組み (※参照)



特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律第三条第一項の規定に基づいた「西原町字小橋川の二千六百八十八m²(八一三坪)土地」に係る特定農地貸付について、平成二十七年十一月二十六日 西原町農業委員会会长の承認を得、事業を本格的に始動しました。

本事業は、シルバー人材センターなど農地を所有してない者が、農地利用集積円滑化団体JAから農地を借り受けて、耕作放棄地再生利用交付金を活用し、地域の高齢者が野菜や花などの栽培を通して、自然に親しむことができ、会員と高齢者が、「はい菜(ハイサイ)」と声を掛け合う交流の場や情報交換の場として、そして老

翁長理事長は、地方公共団体及び農業協同組合以外の民間会社や法人など多様なものによる市民農園の開設が可能となつたことを受け、平成二十七年十一月十二日、西原町上間町長、沖縄県農業協同組合砂川理事長、西原町シルバー人材センター翁長理事長との三者で特定貸付農地(※参照)の適切な管理運営に関して、貸付協定を締結しました。

特定農地貸付に係る農地法等の特例に関する法律第三条第一項の規定に基づいた「西原町字小橋川の二千六百八十八m²(八一三坪)土地」に係る特定農地貸付について、平成二十七年十一月二十六日 西原町農業委員会会长の承認を得、事業を本格的に始動しました。

後の生きがいなど、一つの生活スタイルの改善を目的として開設しています。

「シルバーはい菜農園」の区画は、四十一の区画に整備され、利用面積として、十坪から二十坪に区画割りし、平成二十八年四月一日に供用開始されました。

シルバーはい菜農園の利用者の、ほとんどの方が農業のプロではない皆さんで、始めて土に触れる所とあって、土作りから始め、トマト、ナス、オクラ、パ.パイア、玉ねぎなど、育てる中で利用者同士が試行錯誤する日々を一喜一憂しながらお互いの栽培談義で交流を深め、また朝夕の水遣りや休日は多くの高齢者が集う賑やかな場となっています。

収穫が楽しみで毎日、はい菜農園に通っている利用者は、育てた野菜は食卓を飾り、彩り豊かな料理が並ぶ、ある利用者は「孫達が大喜びで精が出ます」と笑顔が印象的でした。



「島野菜栽培基本講習会」
シルバーはい菜農園利用者
(一般高齢者及び会員)
平成二十八年十月十四日(金)



農園利用者等に向け、野菜の基本的な栽培方法・栽培時期やセンター製造の堆肥・液肥の活用方についてまとめ有償で提供しています。



季節ごとに野菜を栽培



「農園」に生まれ変わった「耕作放棄地」

| 寄付金(平成28年度) | |
|-------------|--------------|
| 事業所等名 | 事業所等名 |
| ● 新中糖産業(株) | ● (有)丸伊産業 |
| ● 金秀鋼材(株) | ● (有)浦添建具 |
| ● 友寄オートサービス | ● 総合金物さきやま |
| ● (株)長嶺商会 | ● (有)ナカヨシ建機 |
| ● (株)屋我商会 | ● (株)三明 |
| ● (有)佐久田商会 | ● 比嘉藤子(元正会員) |
| ● 小波津砂販売所 | |

寄付者一覧(順不同・敬称略)

やらともり
屋良朝則

会員の知識と経験が生かされ、働く喜びと地域社会に貢献でき、喜びを享受できるシルバーを目指しましょう。

(上原出身 63歳)

地域から多くの賛同を得る為、町内企業等を訪問し、シルバー事業の公共性・公益性のPR、また寄付金募集の趣旨説明の下、寄付金募集活動を行いました。 ※寄付金総額:183,000円

サイズ / S・M・L・LL・他
価格: ¥3,150

注文先

宮平スポーツ・事務用品店
(西原中学校向かい)
西原町字翁長 240-3
☎ 945-4602
※上記へ各自、ご注文となります。

当センター「ユニフォーム」の注文のご案内

地域内外へのセンターPRや会員・役職員相互の連帯感の高揚を図る為、活用しています。会員の皆様に是非お持ち頂きたいユニフォームです!

就業報告書は、正確に記入し、就業終了後、速やかに提出して下さい。

※提出が遅れますと、事務処理上、配分金支払いに支障となりますので、就業終了後、単発就業は三日以内、月末就業分については翌月の二日までに提出して下さい。

「就業報告書」の提出は、お済ですか?



就業報告書の提出について

お知らせ(ご協力のお願い)

まずはシルバーの仲間と集い交流しませんか?

※詳しくはセンターにお問合せ下さい。

カラオケ同好会(毎月第一・三土曜開催)

三線同好会(毎月第一・三木曜開催)

グラウンドゴルフ大会(毎月第四土曜開催)

囲碁大会(三ヶ月毎 第二土曜日開催)

シルバー会員になるには

◆西原町に居住する健康で働く意欲のある概ね60歳以上の方。(女性会員大募集!)

◆入会説明会を受けた方。

※入会説明会は毎月第四金曜日 午後2時~

◆お問合せ(※お気軽にお問合せ下さい。)
当センターにて開催しています。

◆お問合せ(※お気軽にお問合せ下さい。)
当センターにて開催しています。

◆西原町のホームページにて検索が可能です。
「西原町のホームページ」にて検索が可能です。

編集後記

リサイクル事業から始まつた企画は、新たに開設「シルバーはい菜農園」の開設という実を結びました。▼農園では様々な作物が実をつけ、収穫された「実り」に季節の移ろいも見ることがでります。▼地産地消で安心・安全な食材を取り入れ、「よく食べ・よく眠り・よく働く」で、今年も会員の皆様が生き活き健康でありますように。(上原)